

グループ「中国だい好き」

ホーム 基本情報 イベント 活動紹介 問い合わせ

市民自主企画講座「中国の魅力にふれる」第1回目



中央公民館主催の市民自主企画講座 1
2月まで全3回開催(企画運営「グループ
中国だい好き」)の第1回目が10月12日
(日)一般参加者を含め30人で行われま
した。
内容は「現代中国の宗教事情」
講師は現在朝日新聞ジャーナリスト学校シニ
ア研究員(元AERA編集部記者)の清水
勝彦氏

清水氏は「中国の五大宗教」として、仏
教、道教、イスラム教、カトリック、プロテス
タントを挙げております。

氏は95年から上海支局長、台北支局長
を歴任。最近出版した自著『宗教が分か
れば中国が分かる』(創土社)があります。

又講演内容に関して私達のブログを御覧
下さい。<http://zuixihuan.exblog.jp/>



最近のその事情変化。

◎ 北京オリンピックと宗教との深
いかかわりある事。

◎ 四川大地震が中国の宗教を劇
的に変えた～復興元年。
5月12日に突然発生した大地震
ではいくつかの宗教団体が被災者
へのボランティア活動を行い、当
局も活動を評価した。即ち宗教活
動が「特定の場」から「外で行う」も
のに変化した事。これは画期的な
事。

◎ 中国におけるメジャーな宗教
の実態を探る。

特にチベット仏教についてのお話
があり、又質問もあり。

◎ 今後、中国の宗教の自由は如
何に?

中国当局にとって、宗教はコントロ
ールできる範囲に入ってきた。20
04年には法律も作った。その枠内
で「宗教の自由」は積極的に認め
てゆく。しかしチベット仏教との関
係は他の宗教に比して和解しがた
い溝がある。と言う方向性が伺え
る講演であった。

